

令和4年度

事業報告書

令和4年 4月 1日から

令和5年 3月31日まで

公益財団法人 九州文化協会

令和4年度事業報告書

1. 事業名称

令和4年度九州芸術祭（第54回）

2. 事業目的

昭和44年に発足した公益財団法人九州文化協会は「九州は一つ」を旗印に掲げ、九州芸術祭を継続的に展開してきました。事業の目標は九州・沖縄の広域圏で独自の地域文化を形成発展させることにあります。

3. 事業内容

令和4年度九州芸術祭（第54回）は下記の通りの事業を実施しました。

A. 九州芸術祭文学賞（第53回）

九州・沖縄全地域から未発表の文学作品（小説）を募集しました。地方で、しかもかように広域にわたる作品の公募は全国に例を見ません。公募主体は8県3政令都市の計11自治体。毎年5月1日から募集を始め、8月末に締め切ります。それぞれに審査して地区優秀作と次席を1編ずつ決めました（さらに独自に奨励賞を設定している自治体もあります）。これら地区優秀作11編を対象に今年1月26日、最終選考をおこないました。審査の結果、最優秀作は該当なし、次席の佳作に福岡市代表の城戸祐介（きど・ゆうすけ）氏の『工場にて』と鹿児島県代表の豊島浩一（とよしま・こういち）氏の『貉』の二点が選ばれました。例年通り他の地区優秀作と併せ作品集に収録して販売するとともに関係方面に配付しております。

最終選考委員は作家の五木寛之氏（創設以来53回続けて審査）、村田喜代子氏、小野正嗣氏、雑誌「文学界」編集長の丹羽健介氏でした。表彰式及び小説家平野啓一郎氏による記念講演は3月12日（日）ホテルニューウェルシティ宮崎（宮崎市）にて行いました。

九州芸術祭文学賞の最優秀作受賞者からは過去に4人の芥川賞作家が生まれています。第7回の村田喜代子氏、第8回の又吉栄喜氏。第27回の目取真俊氏、第30回の大道珠貴氏です。特に目取真氏は当文学賞の応募作品『水滴』がそのまま芥川賞を受けました。第18回の岩森道子氏、第19回の崎山多美氏も芥川賞候補となっています。芥川賞作家ではありませんが、吉川英治文学新人賞、山本周五郎賞、柴田錬三郎賞、新田次郎文学賞を受賞して活躍中の帯木蓬生氏は第6回で最優秀賞を受けています。

第53回九州芸術祭文学賞応募状況

第53回九州芸術祭文学賞は九州文化協会と九州・沖縄各県、福岡市、北九州市、熊本市の共催で令和4年5月1日から募集し8月31日に締め切りました。

応募総数は270編。前年の269編より1編の増です。

各地区応募数

	令和4年度	令和3年度	増・減
福岡県	31	32	-1
福岡市	36	35	+1
北九州市	21	14	+7
佐賀県	23	24	-1
長崎県	26	27	-1
熊本県	11	10	+1
熊本市	11	11	+0
大分県	31	32	-1
宮崎県	19	23	-4
鹿児島県	36	29	+7
沖縄県	25	32	-7
計	270	269	+1

9～10月にかけてこれら11地区で地区審査をし、地区優秀作、次席を決定。地区優秀作11編を11月に最終選考委員へ送りました。

地区優秀作と次席の22人の方を年代別で見ますと下記のとおりでした。

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
1人	2人	3人	3人	4人	4人	4人	1人

- * 令和4年度 最優秀作 該当なし
 佳作 福岡市 城戸 祐介 『工場にて』
 佳作 鹿児島県 豊島 浩一 『^{ムジナ}貉』
- * 令和3年度 最優秀作 長崎県 白石 昇 『足の間』
 佳作 沖縄県 金名 サメリ 『明治通りに打ち上げられたクラゲ』
- * 令和2年度 最優秀作 該当なし
 佳作 該当なし

令和4年度（第53回）九州芸術祭文学賞入賞作

		地区優秀作				地区次席			
応募総数 270編	作品名	筆者	(11月1日現在)年齢	現住所	作品名	筆者	(11月1日現在)年齢	現住所	
福岡県 31編	へその緒	みさく 深作礼	17歳	福岡県久留米市	段ボール箱の男	おだか 尾高洋玄	70歳	福岡県柳川市	
福岡市 36編	工場にて	きど 城戸祐介	40歳	福岡県福岡市	バルーン綺譚	もり 森由美	70歳	福岡県福岡市	
北九州市 21編	始祖鳥飼育	せさき 瀬崎峰永	54歳	福岡県北九州市	夏。あなたになる	わかば 若蓮美穂	63歳	福岡県北九州市	
佐賀県 23編	浮かんで沈む泡栗	ひぐち 樋口浩一	43歳	佐賀県佐賀市	シンメトリー・アシシメトリー	にじょう 二条惟治	24歳	佐賀県神埼市	
長崎県 26編	くちびるの歌	たかなみ 高浪千裕	50歳	長崎県長崎市	梵唄の止む時	しもぎ 下崎清丘	89歳	長崎県長崎市	
熊本県 11編	虹色の川	みやもと 宮本誠一	60歳	熊本県阿蘇市	血の海でクロール	しおもと 塩本祐介	57歳	熊本県玉名郡	
熊本市 11編	ダイエット	いで 出町子	78歳	熊本県熊本市	ひみつのたからもの	はしもと 橋本麻美	34歳	熊本県熊本市	
大分県 31編	溢れる水	たかくぼ 高窪修	65歳	大分県大分市	ふたりのこと	せりゆう 瀬立明	41歳	大分県大分市	
宮崎県 19編	たとえば、ドングリを拾いに	とりうみ 鳥海美幸	62歳	宮崎県都城市	ブレス・ユー	エビハラ	33歳	宮崎県日南市	
鹿児島県 36編	絡	とよしま 豊島浩一	53歳	鹿児島県鹿児島市	かわいいそうなおじさん	やまもと 山本寛章	24歳	鹿児島県鹿児島市	
沖縄県 25編	恋文翻訳家	のぼら 野原誠喜	36歳	沖縄県那覇市	夕凧の海	くにし 國祥としひで	73歳	沖縄県島尻郡	

B. 九州芸術祭文学賞表彰式・記念講演会

日 時 令和5年3月12日(日) 13時～16時
場 所 ホテルニューウェルシティ宮崎 (宮崎市)
一般入場者数 約200名
講 師 平野 啓一郎 氏 (小説家)
テ ー マ 「人生から小説へ」

C. 九州芸術祭巡回講演会

★「文学カフェin日田」

日 時 令和4年5月14日(土) 14時～16時
場 所 日田市民文化会館 パトリア日田 (日田市)
入場者数 約100名
語り手 俵 万智 氏 (歌人)
聞き手 藤原 賢吾 氏 (西日本新聞社 記者)
テ ー マ 「未来の記念日」

★「文学カフェin長崎」

日 時 令和4年10月1日(土) 14時～16時
場 所 長崎県美術館 (長崎市)
入場者数 約60名
講 師 青来 有一 氏 (作家)・酒井 信 氏 (評論家)
テ ー マ 「風土から現代日本文学を読む」

D. 舞台公演など

【福岡県】

- ・事業名 第30回ふくおか県民文化祭2022
- ・実施時期 令和4年10月～12月
- ・会 場 県内各地
- ・内 容 演劇公演や趣向を凝らしたコンサート、子どもたちが芸術文化や伝統文化を体験したり学んだりする講座など、県民の皆さんに、文化芸術を鑑賞・参加・創造する機会を提供した。

【福岡市】

- ・事業名 福岡市民芸術祭オープニングイベント (親子芸術体験事業)
- ・実施時期 ①令和4年9月25日
②令和4年10月29,30日
- ・会 場 ①公演：なみきホール
②ワークショップ：パピオビールーム (10/29)

福岡市美術館アートスタジオ（10/30）

- ・内 容 ①フィジカルコメディ舞台「ケッチスケッチ」公演
身体の動きひとつで観客を魅了し、世界 35 カ国で大旋風を起こした、元「が〜まるちょぼ」のケッチ氏が、1年間ヨーロッパで、その技術と表現力に磨きをかけ、福岡を拠点に活動しており、その舞台作品の公演を行う。
- ②パントマイムワークショップ
小学生及び一般向けにケッチ氏が講師となりパントマイムワークショップを開催し、身体表現の可能性を広げる機会とする。
- ・来場者数 公演：736名（2公演合計）
- ・参加者数 ワークショップ：55名（4回実施）

【佐賀県】

- ・事業名 第60回佐賀県文学賞
- ・実施時期 一般 令和4年7月11日～8月31日
ジュニア 令和4年6月27日～8月5日
- ・会場 佐賀県庁正庁
- ・内 容 佐賀県内の優れた文芸作品（小説・随筆・詩・短歌・俳句・川柳）を公募（一般・ジュニア）し、優秀な作品に賞を授与することにより、文芸活動の意欲向上に貢献した。また、応募作品のうち、一般の部小説一席は、九州芸術祭文学賞の佐賀県代表作品として推薦した。
- ・来場者数、参加者数、応募数など
応募者数 一般 409名 ジュニア 1452名

【長崎県】

- ・事業名 第49回長崎県新人演奏会
- ・実施時期 令和4年6月19日（日）
- ・会場 アルカスSASEBO 中ホール
- ・内 容 県クラシック音楽家の登竜門としての演奏会を開催し、優れた演奏家の育成及び本県の音楽文化の振興を図る。
- ・来場者数、参加者数、応募数など
出演者9名（声楽2名、ピアノ2名、管楽器4名、弦楽器1名）
- ・入場料 一般 1,000円、高校生以下無料
- ・入場者数 317名

【熊本県】

- ・事業名 第64回熊本県芸術文化祭
- ・実施時期 令和4年9月～12月（子ども芸術祭は8月）
- ・会場 熊本県内一円
- ・内容 ○スペシャルステージ
「ONE PIECE」×人形浄瑠璃 清和文楽
超馴鹿船出冬桜（ちよっぱあふなでのふゆざくら）
 - ・人気漫画と170年の伝統がある県重要無形文化財の異色のコラボで熊本の魅力を発信
 - ・期日：令和4年11月5日（土）、6日（日）
 - ・場所：熊本県立劇場 演劇ホール○第10回くまもと子ども芸術祭2022 in 玉名
 - ・子どもたちを主体とした芸術祭で、地域芸術文化の活性化と次世代へ継承・発展を図る
 - ・舞台、展示、体験
 - ・期日：令和4年8月20日（土）、21（日）
 - ・場所：玉名市民会館 ホール棟○参加事業等
参加事業数：178事業（参加者・来場者数は集計中）

【熊本市】

- (1)・事業名 第36回 火の君文化祭、第5回 子ども文化祭
 - ・実施時期 令和4年11月4日～6日
 - ・会場 熊本市火の君文化センター
 - ・内容 邦楽、日舞、音楽、ダンスなどのステージ発表と、茶道、華道、書道、絵画、写真、陶芸、手芸などの作品展示を実施
 - ・来場者数2,350名、参加者数1,110名、
- (2)・事業名 第56回 富合町文化祭
 - ・実施時期 令和4年11月2日～3日
 - ・会場 熊本市富合ホール（アスパル富合）
 - ・内容 日舞、フラダンス、花架拳、箏、三味線、詩吟、コーラスなどのステージ発表と、華道、書道、絵画、写真、手芸などの作品展示を実施
 - ・来場者数700名、参加者数200名

- (3)・事業名 令和4年度 天明文化協会 文化祭
- ・実施時期 令和4年11月20日
 - ・会場 熊本市天明ホール
 - ・内容 楽器演奏、吟詠、日舞、カラオケなどのステージ発表と、華道などの作品展示を実施
 - ・来場者数 170名、参加者数 60名、
- (4)・事業名 熊本市北区植木町文化協会 文化祭 2021「合同発表会」他
- ・実施時期 令和4年10月13日～11月27日
 - ・会場 熊本市植木町文化センター、大和コミセン
 - ・内容 音楽、日舞、三味線、民謡などの舞台発表と、華道、俳句、川柳、絵画、写真などの作品展示を実施
 - ・来場者数 978名、参加者数 241名、

【大分県】

- ・事業名 第16回大分アジア彫刻展
- ・実施時期 令和4年10月16日から11月27日
- ・会場 朝倉文夫記念文化ホール
- ・内容 近代日本彫刻の基礎を築き東京美術学校や「朝倉塾」で後進の育成に努めた大分県出身の彫塑家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門として第16回目となる彫刻展を開催
- ・来場者数、参加者数、応募数など
来場者数 2,054人、応募数 172点

【宮崎県】

- ・事業名 第25回みやざき文学賞
- ・募集期間 令和4年8月1日～令和4年9月9日
- ・表彰式会場 宮崎観光ホテル（令和5年2月17日）
- ・内容 広く県内在住者を対象に、小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳の6部門について作品を公募、表彰した。
- ・応募数 6部門合計で698点の応募があった。

【鹿児島県】

- ・事業名 世界自然遺産登録記念県民文化フェスタ
in あまみ 2022（舞台部門）
- ・実施時期 令和4年10月16日（日）
- ・会場 奄美市文化センター
- ・内容 島唄などの披露
- ・出演団体数 11 団体（232 名）
- ・鑑賞者数 865 名

- ・事業名 世界自然遺産登録記念県民文化フェスタ
in あまみ 2022（展示部門）
- ・実施時期 令和4年10月16日（日）
- ・会場 奄美市文化センター
- ・内容 大島紬などの展示・出演団体数7 団体（120 名）
- ・鑑賞者数 660 名

【沖縄県】

- ・事業名 令和4年度沖縄県伝統芸能公演事業
（重要無形文化財保持者等公演）
- ・実施時期 令和4年 9月11日（日） ワークショップ①
令和4年11月 4日（金） ワークショップ②
令和4年12月10日（土） 本公演19時～21時
- ・会場 伊平屋村産業連携拠点センター
- ・内容 組踊体験ワークショップ、琉球舞踊4題
・成果発表・組踊「執心鐘入」
- ・来場者 142名（座席192席に対し、入場率74%）
- ・ワークショップ参加者 伊平屋小学校児童17名

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月

公益財団法人 九州文化協会